

目かくし遮音フェンスGM型 端尺パネル現地加工要領書 (標準パネル)

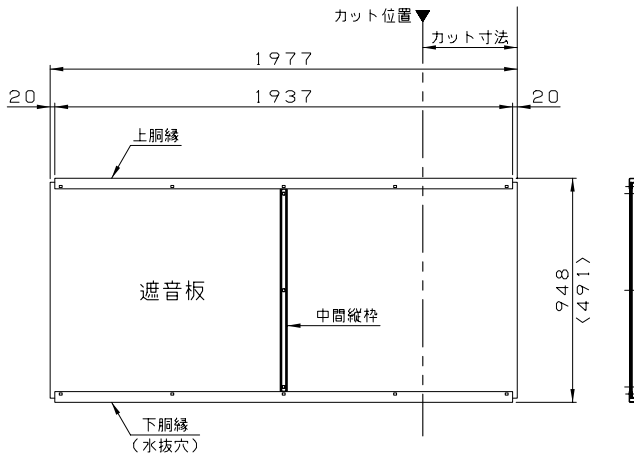
注意：パネル加工及び施工時、製品は直接地面に置かないで敷物を施してください。

手順

1. パネルの上下方向に注意し、表面（パネルのボルト側）を上面にしてカット位置にマーキングする。（図-1 a）
（例 標準スパンが2000mmで端尺スパンが1700mmの場合、カット寸法は2000mm-1700mm=300mmです）
2. パネルの表面をチップソーカッターで切断し、裏面（ナット側）を上面にする。（図-2 a）
注）カット時、板にキズがつかないように注意ください。
3. パネル中間縦枠のボルトを緩めて、胴縁及び押えL型プレートはボルト・ナットを取外し、端部から20mmの位置をカットする。（図-3 a）
・パネルのボルト部に入っているスペーサーは再利用しますので紛失しないように注意ください。
・加工時の切粉等は除去する。（不十分だと、もらい錆の原因となります。）
4. 胴縁及び押えL型プレートの端より25mmの位置にφ10のドリルで穴あけをする。切断、穴あけ箇所はバリ取りをして補修塗りを施す。
遮音板は所定位置にφ15のドリル又はホールソーで穴あけをする。（図-4 a）
5. 胴縁及び押えL型プレートを取外したボルト・ナットで組立する。（図-5 a）
注）ボルト部には既存のスペーサーを入れて組立ください。
・GEパネルの場合
遮音板カット側に同送のサンベルカを貼付ください。貼付要領は目かくし遮音フェンスGM型GEタイプの施工要領書ページ[7/9]を参照ください。

手順図

図-1 a 標準パネル（2.0m又は2.05mスパン用）形状及び寸法



・（ ）内はGEパネル、[]内はGGパネル、< >内はGE・GGパネルH491の場合を示す。

図-4 a 胴縁及び押えL型プレート及び遮音板の穴あけ

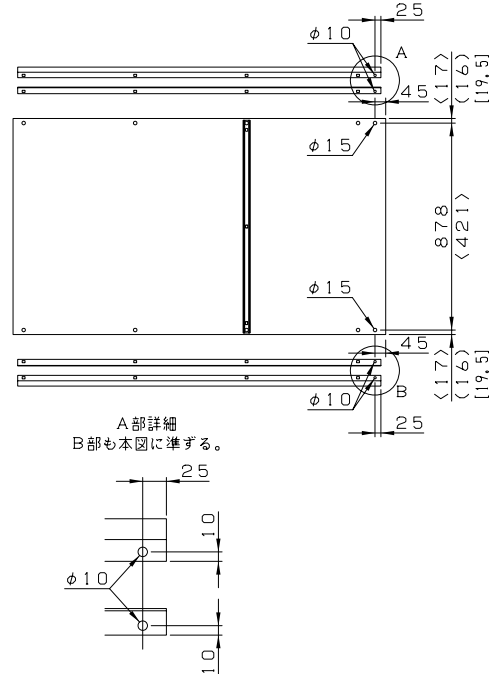


図-2 a パネル切断後、裏面を上面に反転する（ナットが上面）

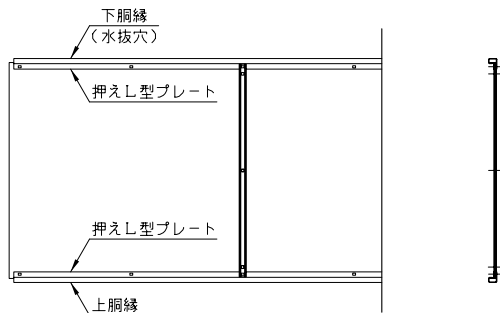


図-3 a 胴縁及び押えL型プレートの取外しと切断

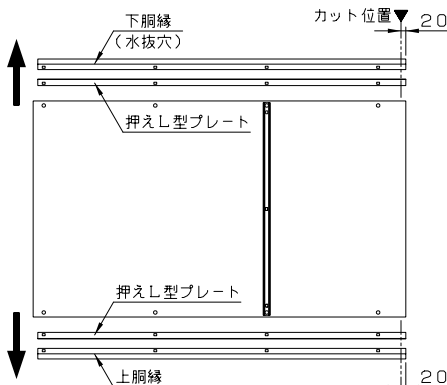
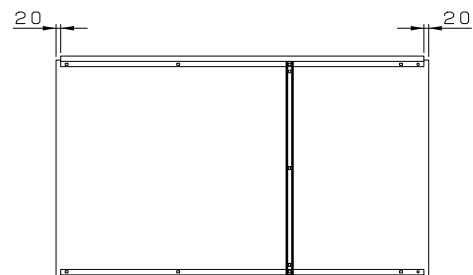


図-5 a 組立完成



目かくし遮音フェンスGM型 端尺パネル現地加工要領書 (コーナーパネル)

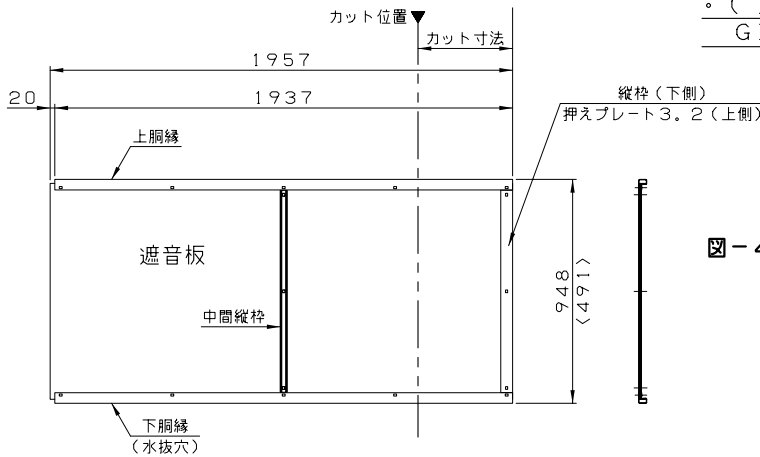
- 注意：パネル加工及び施工時、製品は直接地面に置かないで敷物を施してください。
- ・本コーナーパネルはコーナー側をカット加工する場合です。中間側で加工する場合は、標準パネルの加工要領（裏面）を参照ください。

手順

1. パネルの上下方向に注意し、表面（パネルのボルト側）を上面にしてカット位置にマーキングする。（図-1 b）
カット位置は柱のパネル取付ボルトの寸法を実測の上、決定ください。
2. パネルの表面をチップソーカッターで切断し、裏面（ナット側）を上面に反転する。（図-2 b）
切断したパネル側の縦枠及び押えプレートを外す。部品は再利用しますので、紛失しないように注意ください。
注）カット時、板にキズがつかないように注意ください。
3. パネルの中間縦枠のボルトを緩めて、胴縁及び押えL型プレートはボルト・ナットを外して取外す。（図-3 b）
・加工時の切粉等は除去する。（不十分だと、もらい錆の原因となります。）
4. 胴縁及び押えL型プレートの端より25mmの位置にφ10のドリルで穴あけをする。切断、穴あけ箇所はバリ取りをして補修塗りを施す。
遮音板は所定位置にφ15のドリル又はホールソーで穴あけをする。（図-4 b）
5. 胴縁及び押えL型プレートを取外したボルト・ナットで組立する。又、端部の縦枠及び押えプレートを取付ける。（図-5 b）
注）ボルト部には既存のスペーサーを入れて組立ください。

手順図

図-1 b コーナー（L）用定尺パネル（2.0m又は2.05mスパン用）形状及び寸法
（コーナー（R）用パネルも同要領です。）



・（ ）内はGEパネル、[]内はGGパネル、< >内はGE・GGパネルH491の場合を示す。

図-2 b パネル切断後、裏面を上面に反転する（ナットが上面）

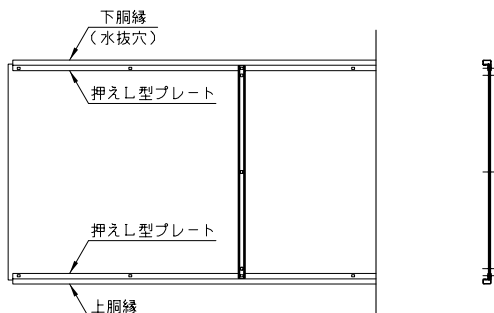


図-3 b 胴縁及び押えL型プレートの取外し

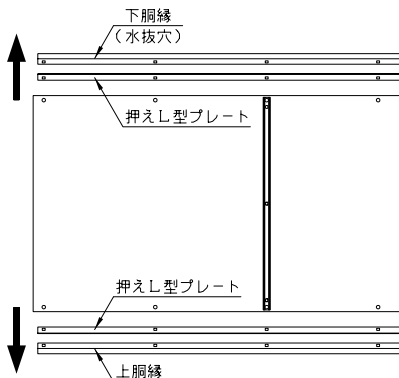


図-4 b 胴縁及び押えL型プレート及び遮音板の穴あけ

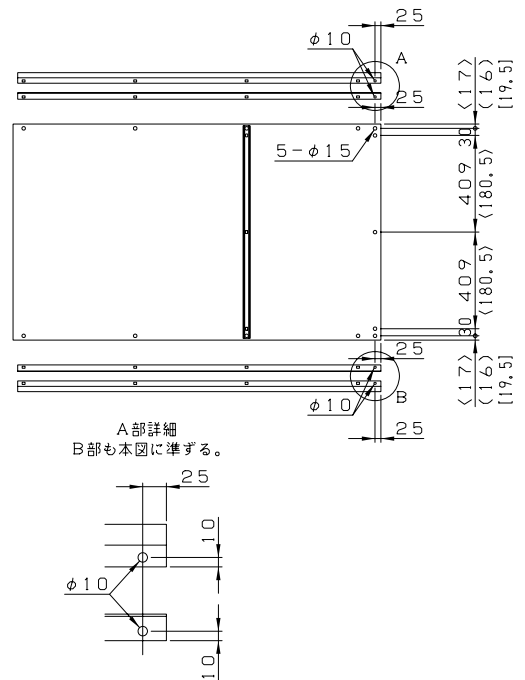


図-5 b 組立完成

